

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成21年7月2日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0874400310		
法人名	タカラケア株式会社		
事業所名	グループホーム ひなたぼっこ	ユニット名	Bユニット
所在地	〒 300-1631 北相馬郡利根町早尾字早尾台610-1		
自己評価作成日	平成 21年 6月 25日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	
-----------------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内
訪問調査日	平成 21年 8月 18日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- ・ホーム全体に穏やかな雰囲気があり、ご利用者一人ひとりに添ったケアが行なわれている。
- ・ご家族、地域の方がいつでも自由に来訪され住み慣れた生活の継続が出来る。
- ・提携医療機関との連携も出来ており、24時間緊急対応が出来る。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた環境の中で「明るく楽しく穏やかに」の介護理念を、管理者・職員は常に共有し、生活の継続ができるよう取り組んでいる。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のつながりを重視し、小学校の運動会や敬老会の参加など地域のボランティアやサークルの会などを招いてご家族や地域の方との交流が深い。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	在宅介護をされているご家族には、簡単な介護技術を伝え、又、地域の方々の介護相談にも応じている。
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回の運営推進会議を開催し、毎回、民生委員・ご家族・自治会長・行政担当者を招き、活発な意見交換の場となり、サービス向上に活かされている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者との連絡は密であり、ケアサービスの取り組みや実情及び問題事例の相談もさせて頂き協力関係が出来ている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束ゼロ対策防止規程」を作成し、必要に応じて身体拘束ゼロ運営委員会を開催している。職員は具体的行為を正しく認識し、「身体拘束をしない」ケアの実践に取り組んでいる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内の研修及び外部研修の参加を実施し、虐待にあたる行為の認識を正しく理解し、見過ごし防止に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見人制度は、ホーム内の研修及び外部研修で学ぶ機会を設けている。
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約に関しては十分な時間をとり、内容の説明を行っている。ご家族の疑問点は納得されるまで説明を行っている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に相談窓口及び外部申し立て機関の連絡先が明記されており、又、ユニット玄関口には意見箱を設置し、率直なご意見を運営に反映させている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に行っているフロア会議や個人面談において運営方針を伝え、職員の意見や提案等を聞き、運営に活かしている。
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	状況に合わせたシフト変更や労働時間に合わせた変更を行い調整をしている。又、各自基本行動評価票で自己評価を行い、向上心が持てるよう努めている。
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内研修、外部研修において、認知症介護の専門職として勉強をしている。それぞれの自己目標を定め、スキルアップに努めている。
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ホーム内研修、外部研修の勉強会には、積極的に参加している。近隣の施設に訪問し相互のサービス向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談から利用に至るまでは管理者が聞き取りをして、困難状況の把握に努めている。ご入居後は事前情報をもとに、ケアマネ・職員が会話の中から本人の求めを聞く努力をしている。	
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からの要望が行き違わないように、相談窓口を一本化し、相談がある場合は管理者に取り次ぎ、話を聞く機会を作っている。相談に際しては、時間をかけて家族の要望を受け止める努力をしている。	
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際に、今必要とされている支援を見極め、それ以外の対応できるサービスの事例等も含め提示している。	
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者は時には職員と一緒に台所に立ち、食事作り、盛り付け・お膳拭き等を手伝って頂いている。その中で昔ながらの生活の知恵を教えて頂き、一方的な介護者の立場ではなく、共に生活する者同士の関係が出来ている。	
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホームには気軽に来訪できる雰囲気があり、面会時間の制限も特にない。自由に来訪ができ、本人と家族との関係が継続できるよう支援している。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも家族や友人との交流ができ、本人の希望が少しでも多く取り入れられようように支援しており、地域行事にも参加して今までの継続ができるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は利用者同士の関係を把握しており、利用者全員が参加できるよう、レクリエーションや合唱の練習等で孤立感を感じないように配慮し、利用者同士が交流が持てるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時にも必要に応じて訪問をし、本人・家族の相談に対応している。又、電話の相談にも対応している。	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は利用者・家族からの希望・要望の把握に努めている。又、困難な場合には、日常の行動観察等で本人本位になるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの情報を聞き取ると共に、本人からの会話を通じて、把握するよう努めている。	
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その方なりの生活ができ、利用者一人ひとりの出来る事と出来ない事の現状把握に努めている。	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の要望をお聞きして、本人がより自分らしく暮らす為の課題を抽出しスタッフ全員で話し合ったり、主治医と連絡を取るなどして、介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者に必要な個別の記録等、職員の情報交換に基づき、統一的なケアを実践している。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	安心して生活できるよう、本人の要望・ご家族の要望を伺い、病院でのムンテラ同席、早期退院の交渉等、柔軟なサービスも行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員やボランティアの方に来訪して頂いている。又、年に2回避難訓練を行っている。他に小学校の運動会や町の敬老会にも参加している。
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月定期的に、往診が受けられるよう支援している。又、直接医師と24時間相談できる体制ができており、急な体調変化に対応できる支援が出来ている。
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携医療機関の看護職員や利用者のかかりつけ医療機関の看護職員と気楽に相談し合える関係を作り、適切な医療支援を受ける環境作りをしている。
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者・家族の要望及び治療方針を確認しながら、ムンテラに同席している。又、早期退院に向け、医師又は相談室長と相談できるような体制作りが出来ている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の将来のあり方に関して、日々の生活の中から確認をしている。又、家族の思いも十分な面談の中から確認ができています。ホームで出来る事の理解も頂き、医療機関との連携の中で支援している。
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に心肺蘇生や応急手当等の講習を受講している。
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の消防署員を招き、年2回の消防訓練を行っている。又、地域の人々の協力が得られるよう働きかけをしている。食料の備蓄も行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの誇りやプライド・プライバシーを守り、言葉かけ・対応には十分に気を付け支援をしている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の思いや希望を良く伺い、自己決定をして頂けるよう話しかけ、安心して暮らせるよう支援している。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	穏やかな一日の中で、職員の都合を優先する事なく、利用者の生活のペースを大切にし、それぞれの希望に添える支援をしている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ホットタオルや洗顔・整容には気を配り、着替えなども本人と選び、おしゃれができるよう支援している。月に一度美容室の利用をし、本人の望むカットをして頂いている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	時には職員と一緒に台所に入り、調理を楽しまれたり、又、食後の後片付け等に参加して頂いている。ベランダでのランチ食や季節を感じて頂く行事食にも力を入れている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嚥下に問題のある方は、ミキサー食や刻み食にし、とろみを付ける等の支援をしている。定時以外の水分摂取にも気を配り、食事量・水分量は一人ひとりのケース記録に記入し把握している。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとり声かけや、誘導にて、ご自身で口腔ケアをして頂き、その後職員が入れ歯の仕上げ磨きをしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、事前の誘導・声かけにより、排泄の失敗が減りオムツの使用が無くなった方もいる。
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い野菜や乳製品を多く取り入れたバランスの良い食事の提供に努めたり、水分摂取や運動も多く生活の中に取り入れる工夫をし、便秘の予防に取り組んでいる。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の曜日は各自決まっているが、その時に応じた入浴をできる取り入れている。希望があれば毎日入浴も出来る。利用者がゆっくりと入浴ができるよう支援をしている。
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の体調や希望に応じて、居室や和室で休息できるよう支援している。又、就寝時には職員が居室の室温調整をしたり、冬期には湯たんぽを入れる等して、安眠できるよう支援している。
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋の説明書を確認すると共に、一包・一錠に日付を書き込み、服薬時には保管場所で確認をし、服薬者の目の前で声を出し、食前食後と顔・名前を再度確認を行い、飲み込みまでの確認を行なっている。
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの出来る力を生かし、職員と一緒に調理・盛り付け等をして頂いている。又、ベランダでのランチ等で気分転換を図り、その際には、好みによりワイン等の嗜好品を召し上がるご利用者もおおり、大変満足されている様子が伺える。
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候・気温・利用者の体調を見ての毎日の散歩、季節ごとのドライブなどを行い、事業所内だけで過ごす事の無いようにし、ご家族の参加もできるように支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族よりお小遣いをお預かりし、身の回りの品物を外出時や散歩に出かけ際に希望があれば応じられるよう支援している。</p>	
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族の了承の上、利用者より希望があれば電話を取り次いだり電話をかける支援を行い、又、郵便物のやり取りが出来るような支援も行っている。</p>	
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングには季節の花を飾ったり音楽を流したり、季節ごとに作成した作品を飾る等して工夫をしている。又、利用者の混乱を招かないように、大声や大きな音を立てない等、職員は注意をしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングには和室があり、廊下にもベンチが設置されており、利用者の集いの場になっている。又、ソファ等で独りゆっくりと新聞を読まれる等、思い思いに過ごせるよう工夫がされている。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、利用者が使いなれた家具や生活用品・装飾品・好みの物等を置き、居心地良く過ごせるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室・廊下・玄関等は段差を無くしたり、廊下には手摺を付ける等、安全に行動できるよう配慮されている。又、居室には表札を付け、各自がご自身の居室が判るよう配慮している。</p>	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4,ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1,毎日ある <input type="radio"/> 2,数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3,たまにある <input type="radio"/> 4,ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2,家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3,家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4,ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1,ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2,数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3,たまに <input type="radio"/> 4,ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1,大いに増えている <input type="radio"/> 2,少しずつ増えている <input type="radio"/> 3,あまり増えていない <input type="radio"/> 4,全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2,職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2,利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1,ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2,家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3,家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4,ほとんどいない